

平成 29 年 7 月 21 日

会 員 各 位

日本眼科医会会長 高野 繁
常任理事 白根 雅子

【報告】「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」による災害について

「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」により、被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますように、祈念しております。

本会として、日本眼科学会と連携して被災地と直接連絡を取り合い、情報の入手に努めています。状況を、各県眼科医会からお聞きした内容をもとに下記のように報告いたします。

記

◆7 月 5 日

7 月 4 日深夜から 5 日未明にかけて中国地方での大雨の原因になった「線状降水帯」は、梅雨前線の南下とともに発生場所を変え、5 日昼からは九州北部でも記録的な豪雨を降らせました。

◆7 月 7 日

【福岡県】眼科診療所 1 施設から情報提供をいただく。

(T 眼科) 福岡県朝倉市 状況：周囲約 150m にわたり高さ約 70cm の石泥で覆われ、電気、水道が完全にストップ。石泥が病院の床まで達している。人的被害なし。

◆7 月 8 日

【福岡県】続報

(T 眼科) 状況：電話復旧、対応の範囲内で診療再開。トイレ使用不可。対応不能な患者様は、近隣の眼科に紹介している。

◆7 月 9 日

【大分県】眼科診療所 1 施設から情報提供をいただく。

状況：水漏れの被害あるが診療に支障なし。人的被害なし。

【熊本県】、【島根県】から被害なしと報告あり

◆7 月 11 日

これらの情報を基に、日本眼科学会 大鹿理事長と相談し決定いたしました。

1. 現状は、災害対策本部は立ち上げないこと。
2. 現状は、ビジョンバンによる支援活動は行わないこと。

以上